

ポーレックス コーヒーミル・プロフェッショナル ポーレックス コーヒーミル・ミニ プロフェッショナル

の使用方法

粒度調節をする

- ・本体にコーヒー豆を入れる前に粒度調節をしてください。



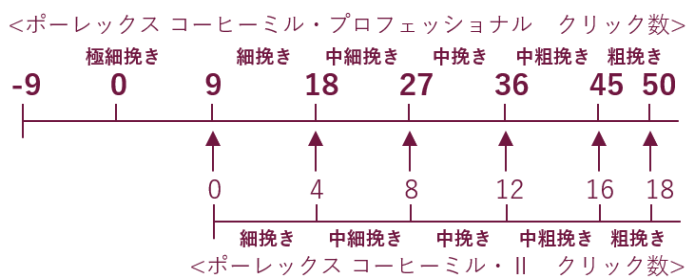
- ・受け容器を外し、調節ネジを締める(時計回り)と細かく、緩める(反時計回り)と粗く挽くことができます。調節ネジを回すときは、シャフトまたは軽く内刃を押さえながら調節ネジを回します。

シャフトを押さえるときは、シャフトにハンドルをつけて押さえることをおすすめします。そのときは、キャップが外れないようにご注意ください。



- ・調節ネジを回すと、「カチ、カチ」という手応えがあります。これを「クリック」という言葉で表現すると、0(ゼロ)の状態から調節ネジを何クリック動かすか粒度設定の目安を参考にお好みの粒度を見つける手がかりにしてください。内刃と外刃が隙間なく触れている状態が「0(ゼロ)」となります。

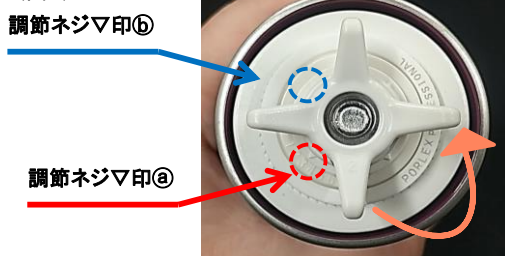
粒度設定の目安



中煎りコーヒー豆を使用
コーヒー豆の種類・焙煎具合等により異なります。

- ・調節ネジには4分の1間隔で▽印があります。調節ネジをセットしたとき、1つの▽印が内刃ベースの1~9のどの数字を指しているかを確認してください。調節ネジの▽印④が内刃ベースの3を指すとき(図1)、▽印⑥を内刃ベースの3まで動かすと9クリック(1回転の4分の1)分動かし(図2)の幅を大きく動かすときの参考にしてください。

(図1)



(図2)



注意点

部品の破損の原因になりますので、-9クリックからご使用ください。

・ **粒度設定「0(ゼロ)」について**

内刃と外刃が隙間なく触れている状態が「0(ゼロ)」となります。

<ご参考> 粒度設定「0(ゼロ)」の確認方法



本体から、受け容器とキャップを外します。



シャフトにハンドルをつけます。
ハンドルが外れないようにご注意ください。



ハンドルが外れないように囲うように本体とハンドルを持ち、調節ネジを締めます。



ハンドルが
外れないように
ご注意ください。

ハンドルが水平に固定

ハンドルがテーブル台等に対して水平の位置に固定されたところが「0(ゼロ)」となります。
水平に固定されている状態でハンドルに触れると、ハンドルが水平の位置を保つことができず下がるときがありますが問題ありません。



このときの調節ネジの矢印が指す数字が「0(ゼロ)」の基準点となります。

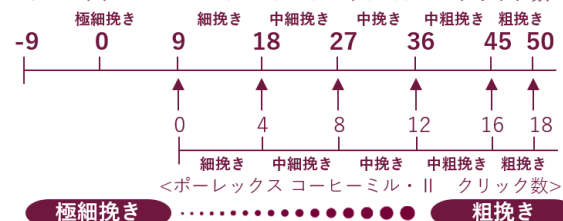


0(ゼロ)の状態から1クリック緩めるとハンドルが固定されなくなります。この状態が「1クリック」となります。

0(ゼロ)の状態から調節ネジを何クリック動かすか以下の粒度設定の目安を参考にお好みの粒度を見つける手がかりにしてください。

粒度設定の目安

<ポーレックス コーヒーミル・プロフェッショナル クリック数>



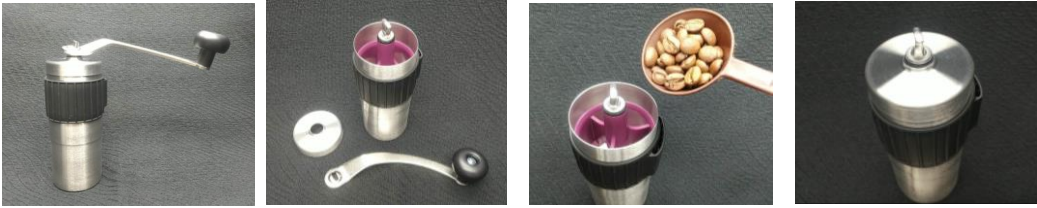
中煎りコーヒー豆を使用
コーヒー豆の種類・焙煎具合等
により異なります。

注意点

シャフトからハンドルが外れないようにご注意ください。

コーヒー豆を入れる

コーヒーミル・プロフェッショナルは約30g(コーヒーカップ約3杯分)、
コーヒーミル・ミニ プロフェッショナルは約20g(コーヒーカップ約2杯分)の焙煎したコーヒー豆を挽くことができます。
当製品は、焙煎したコーヒー豆を挽くために設計したミルです。
焙煎したコーヒー豆以外のご使用はおやめください。
刃の破損の原因になりますので、空回しはおやめください。



- ・キャップを外し、本体にお好みの量のコーヒー豆を入れ、キャップをします。
キャップ、容器ともにはめ込み式なので、わずかにひねりながらゆっくりと抜き差しをしてください。

挽く



- ・ハンドルをシャフトの奥までしっかりとめ込み本体とハンドルを持ち、
ハンドルを時計回りに回すとコーヒー豆が挽かれ、受け容器に粉が落ちます。
- ・ハンドルを水平に持ち、軽く下に押さえながらゆっくりと挽いてください。



- ・本体から受け容器を外し、そのままドリッパー等に粉を移します。
外すときに、挽いたコーヒーの粉が散る可能性がありますので、ご注意ください。



本体のみ立てて置くことができます。
挽いたコーヒーの粉を出すために受け容器を外した後、
本体を寝かせずに立てて置くことができます。
(刃についているコーヒーの粉がテーブル台に落ちることが
ありますので、小皿等の上に置くことをおすすめします)。

注意点

- ・刃はセラミック製のため、外刃と内刃を強く締めつけてコーヒー豆を挽くことができますが
粒度調節以外での空回しはおやめください。刃こぼれの原因になります。
- ・破損の原因になりますので、電動工具をつけてご使用することはおやめください。

分解



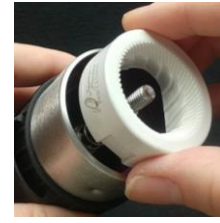
・受け容器を外します。



・内刃を軽く押さえながら
調節ネジを外します。
(反時計回り)



・内刃を外します。



・外刃を外します。

以下の部品に分解できます。

- ①本体
- ②外刃
- ③内刃(④内刃ベース)
- ⑤調節ネジ(⑥調節ネジ用アダプター)



・内刃から内刃ベースを取り外すことができます。

-内刃ベースの分解方法



内刃から出ている樹脂部をつまみ、内刃の中へ押し込み、反対側から引っ張ります。
このとき、指の腹で内刃の中へ押し込み、内刃ベースをできるだけ下げてくださいと
取り外しやすくなります。
ご使用後に分解されるときは、内刃と内刃ベースの間に溜まったコーヒーの粉が散る可能性が
ありますのでご注意ください。

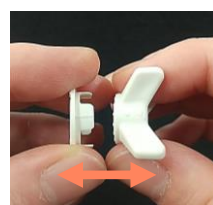
-内刃ベースの組立方法



内刃ベース回り止め(内刃ベースの4か所の突起)を
内刃回り止め(内刃の4か所の内2か所の溝)に合わせて
パチンと音が鳴るようにしっかりとはめ込みます。

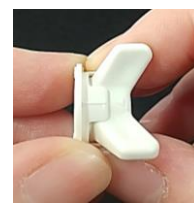
・調節ネジ用アダプターを取り外すことができます。

-分解方法



調節ネジ用アダプターは
引っ張ると外せます。

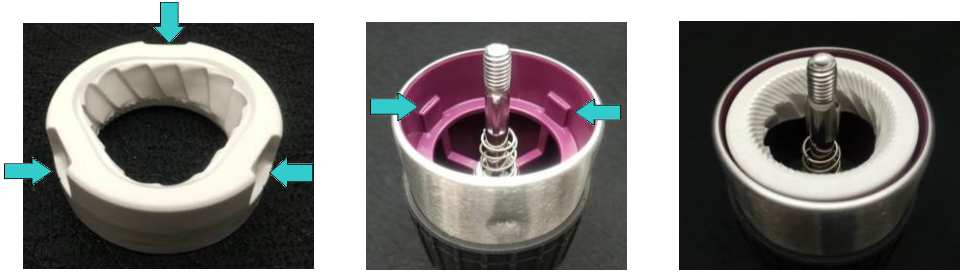
-組立方法



調節ネジ用アダプターを
調節ネジにしっかりと
はめ込みます。

組立方法

・「内刃ベースの組立方法」を参考にしながら、内刃ベースを内刃にセットします。



・外刃の外周にある外刃回り止め(3カ所の溝)を本体内部の本体回り止め(3カ所の突起)に合わせて入れます。
(回り止め部分に挽いた粉が無いこと確認してからセットしてください。)



回り止めに外刃が入っていません。



この状態にしてください。

注意点

外刃が①の状態の場合は、本体回り止めに外刃がきちんとはまりこんでいません。
②の状態にセットしなおしてください。



・内刃ベースをつけた
内刃をシャフトに
通します。



・調節ネジの向きに気をつけて調節ネジをシャフトに通し、内刃を軽く
押さえながら調節ネジを締め、本体に受け容器とキャップをします。
・調節ネジの向きについて
平らな面からシャフトに入れ、内刃ベースへあたるようにセットしてください。

お手入れ



ポーレックス コーヒーミル・プロフェッショナル、コーヒーミル・ミニ プロフェッショナルは分解掃除をすることができます。

いつまでも気持ちよくお使いいただくために、ご使用後のお手入れをおすすめします。

- ・挽き終わった後は、刃や刃の周辺部に写真のように挽いた粉等が残ります。そのままにしておくと、ご希望の粒度にならなかつたり故障の原因となる可能性があります。
- ・残った粉は時間とともに酸化していくので、翌回、コーヒー豆を挽いて風味を楽しむときに影響を及ぼす可能性があります。
- ・本体と受け容器が重なる嵌合部にコーヒーの粉がはさまると、傷の原因になつたり受け容器が取り外しにくくなる可能性があります。
- ・セラミック刃は歯ブラシ等小さなブラシで、その他部品は柔らかいスポンジ等を使って水洗いすることをおすすめします。

注意点

- ・水洗い後は、よく乾燥させてからご使用ください。
- ・錆びる原因になるので、ハンドルを長時間水につけおきすることはおやめください。
- ・ハンドル水洗い後は、水気を拭き取ってください。
- ・傷の原因になるので、クレンザーや金属たわしでの洗浄はおやめください。
- ・煮沸消毒はおやめください。
- ・食器洗い乾燥機や電子レンジのご使用はおやめください。
- ・本体内部のスプリングは外さないでください。

ポーレックス コーヒーミル・プロフェッショナルについて

ステンレス容器について

- ・キャップ、本体、受け容器がネジ式ではないため、嵌合に関して緩め・きつめと製品個々により若干の差異があります。
- ・はめ込み式なので、わずかにひねりながらゆっくりと抜き差しをしてください。

セラミック刃について

- ・刃はセラミック製のため、寸法・形状において製品ごとに若干の差異があります。
- ・刃の内側に成形時の跡が残っている場合がありますが、この跡によって刃が破損することはないので、安心してお使いいただけます。



シャフトについて

- ・コーヒーミルはスムーズにハンドルを回転させ効率よく挽くために、シャフトが回るように設計しています。

ハンドルについて

- ・このような事象が見られることがあります。同じハンドルでも、写真のように光・角度によって見え方が異なります。
- ・これらは国内のハンドル製造企業様においてメッキコーティング工程で発生したムラで、コーティングはしっかりと施されています。錆ではありません。品質上問題は無く、安心してお使いいただくことができます。



美的観点よりこれらを規格外品とした場合、修正することが不可能なため破棄せざるを得ない実状がございます。

機能上問題が無いことより、私どもは規格品として受け入れております。

品質のみならずより美しい製品を皆さまのお手元にお届けしたく一層努力してまいります。